



日本の文化の違いを教えてください。

ハワイで暮らしていた時は、「私は日本人だ」というアイデンティティがありました。ですが、14歳になり帰国すると、逆に「日本人らしくないね」と言われてしまいシヨックを受けました。アメリカでは、周囲から認められるためには、自分の意見をはっきり主張し、堂々と振る舞うことが大切です。一

方、日本には衝突を避けて調和を重視する傾向や、謙虚さを美德とする価値観があります。そうした違いが分かるまで苦労しました。10代を振り返ると、ディレクターに「こんな曲を作りた」と言ってみたり、マネージャーに仕事の内容について尋ね、「優は、なぜが多いよ」と呆れられたりしていました。当時は、意見や質問ばかりするアイドルなんて少なかったもので、「めんどろな娘」だったと思います。でも、少しずつ日本文化を理解し、円滑にコミュニケーションがとれるようになりまし。最初から自分の考えを述べるのではなく、まずは相手の話に耳を傾け、「そうですね」としっかり受け止めたうえで「〜はどうでしょうか?」と提案してみたら、すつと受け入れられました。私らしさを生かしてもらうことができ、

性別にとらわれず、1人の人間として向き合うことが第一歩。

嬉しかったですね。相手の文化を尊重して伝え方を工夫すれば、きつと理解し合えるはずだと考えています。

ご家族について教えてください。

夫と娘2人の4人家族です。夫は娘が赤ちゃんの頃から子育てに積極的でした。初めてお世話をお願いした日をよく覚えていて。私が帰宅すると、部屋が嵐の後のように散らかっていて…。「いったい何が起ったの!?!」と詰め寄りたい気持ちをもぐつと抑え、夫に「今日ほど

うだった?」と聞いてみると、「マザーズバッグをこんな風にパッキングして、公園に連れて行って…」と、目をキラキラさせて話してくれたんです。それを見て、思い切つて夫に任せ、子どもと過ごす機会を作ってみることに。大切に気づきました。以来、任せるところは任せつつ協力して育児をすることができ、夫に感謝しています。娘たちはすつかり大人になり、最近は成長に驚かされます。娘たちから学ぶことも多いです。例えば、次女が仕事で大きな機材を運んでいた時、「重たそう、大変ね」なんて声をかけたら、

「(男女問わず)みんなやっていることだよ」と言われてハツとしました。男女平等やジェンダーについては、私なりに理解し、意識しているつもりでしたが、これらの考え方はどんどん更新されています。海外では三人称に「He」や「She」ではなく、性別を限定しない「They」を使うことが増えているそうです。新たな考え方を私も柔軟に受け入れていきたいです。「男だから」「女だから」ではなく、人と人が「1人の人間」として向き合い、心地良い関係を築けると良いですね。



©大田区

※このインタビューは、令和4年4月19日に行いました。

